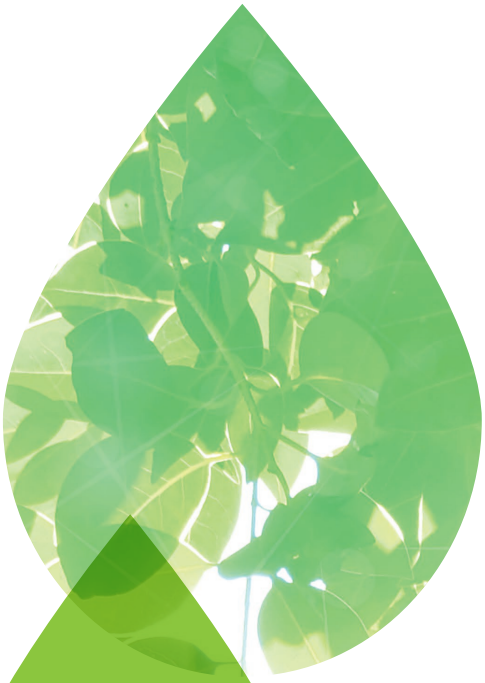
大阪市環境基本計画

―SDGｓ達成に貢献する環境先進都市―

2019-2030 **概要版**



「大いなる一歩を踏み出す時が来た！」

（都島小学校５年生）

大阪市環境局

新たな環境基本計画

▶背景

≪世界≫　人口の増加と経済の拡大、温暖化や海洋汚染、野生生物種の減少など地球環境の悪化
≪日本≫　少子高齢化・人口減少社会の到来

地域コミュニティの弱体化や高齢単身世帯の増加など、さまざまな影響が懸念

↓

「持続可能な開発目標（SDGs）」、「パリ協定」の採択など持続可能な社会をめざす動き

↓

持続可能な社会の実現に向けてパラダイムシフト（考え方の大きな転換）が必要

▶計画の位置づけ

大阪市政全般に関する戦略・方針　大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略　市政運営の基本方針　など

整合　　整合

大阪市環境基本条例に基づく環境分野のマスタープラン
大阪市環境基本計画

- 低炭素社会の構築
- 循環型社会の形成
- 快適な都市環境の確保
- 地球環境への貢献
- すべての主体の参加と協働

整合

分野別計画

- 大阪港港湾計画
- 大阪市強靭化地域計画
- 大阪市都市農業振興基本計画
- 大阪市高齢者保健福祉計画
- 新・大阪市緑の基本計画

など

整合

個別計画

- 大阪市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕〔事務事業編〕
- おおさかエネルギー地産地消推進プラン
- 大阪市エコカー普及促進に関する取組方針
- 大阪市公共建築物等における木材利用基本方針
- 大阪市一般廃棄物処理基本計画
- 家庭系ごみ収集輸送事業改革プラン
- 大阪市生物多様性戦略
- おおさかヒートアイランド対策推進計画
- 大阪市災害廃棄物処理基本計画
- 大阪市水環境計画

など

各計画を踏まえた取組の展開

各区・局運営方針

庁内横断の体制により横串を通しながら施策・事業を実施

SDGsの達成　SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS　世界を変えるための17の目標

▶計画期間　**2030年度まで（＝SDGsのゴール）**

▶基本的な視点

- 持続可能な開発目標（SDGs）実現の視点
- 経済・社会・環境の統合的向上の視点
- 一人ひとりの人間を大切にする視点
- 循環・共生の視点
- 持続可能なイノベーションの視点

▶計画のビジョン　**SDGs達成に貢献する環境先進都市**

- 安心快適な環境、経済・社会・環境の好循環、地球環境に貢献

新たな環境基本計画のコンセプト

「経済・社会・環境の課題を同時解決」「すべてのステークホルダーの参画・連携」「誰一人取り残さない」
というSDGsの考え方を積極的に活用、SDGsの実現に貢献

※幅広い市民生活の領域全般にわたり的確に対応するという基礎的自治体としての使命、国際的な大都市として求められる役割・責任が、SDGsの理念と一致

環境施策の体系

1.低炭素社会の構築に向けた施策

2.循環型社会の形成に向けた施策

3.快適な都市環境の確保に向けた施策

4.地球環境への貢献

5.すべての主体の参加と協働

×

SDGsの考え方を活かした戦略

①地域、市民、事業者との連携強化

②経済、社会、環境の統合的な向上

③持続可能な新しい技術、イノベーションの創出・活用

④国際展開の強化

⑤持続可能で効果的な行政運営

×

計画の推進

市民　地域　事業者 経済団体　環境 NPO/NGO

各ステークホルダーとのパートナーシップ強化

大阪市　全庁的な推進体制

大阪市まち・ひと・しごと創生会議

大阪市地球温暖化対策推進本部

めざす成果

環境の保全　経済の発展　地域コミュニティの活性化　健康増進　防災・安全　行政コストの削減　など

推進体制と効果検証

- ◆「大阪市地球温暖化対策推進本部」の枠組みにより計画を推進
- ◆各施策の取組状況を毎年度点検・公表
- ◆「大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で設定したKPI及び目標値、工程表を活用し、「大阪市まち・ひと・しごと創生会議」において毎年度、分野横断的に効果検証
- ◆外部の目も通じて効果検証の妥当性・客観性を担保
- ◆計画の中間時点で、計画の目標の達成状況を点検・評価し、2025年日本国際博覧会での取組みも見据え計画を見直し

2019 → 2025 日本国際博覧会 → 2030

経済　社会　環境

大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略

▶KPI・目標値、工程表を設定

▶「大阪市まち・ひと・しごと創生会議」において毎年度効果を検証

▶必要に応じて改定

大阪市環境基本計画

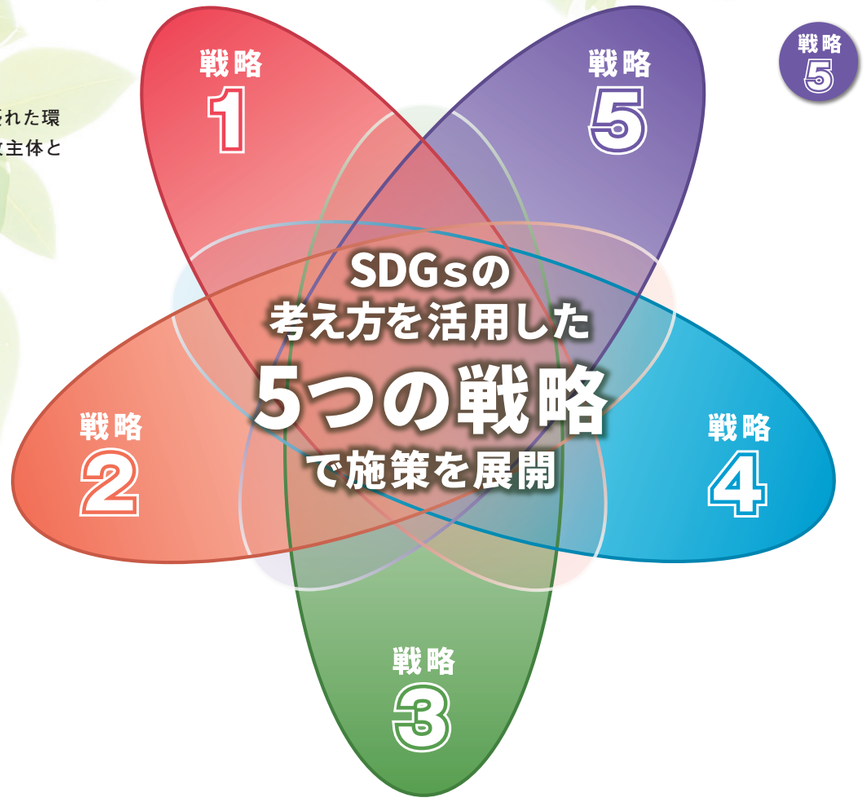
▶「大阪市地球温暖化対策推進本部」の枠組みにより計画を推進

▶施策の取組状況を毎年度点検、公表

▶計画の中間時点で目標の達成状況を点検・評価、計画の見直し

外部の目を通じて妥当性を担保

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標 の達成



戦略1 地域、市民、事業者との連携強化

公害や廃棄物問題を市民や事業者と共に克服してきた歴史や地域コミュニティ、優れた環境技術を有する企業の集積などの強みを活かし、市民に最も身近な総合的な行政主体として施策を展開。

具体の取組み例 ごみ削減の取組み

ねらい

市民・事業者の協力のもと、ごみの分別、資源の回収・循環を拡大し、ごみを削減。深刻化する海洋汚染の改善にも貢献。

さらに

- 戦略2 コミュニティ回収の収益を地域に還元し地域コミュニティを活性化
- 戦略4 大阪市の廃棄物処理の技術・ノウハウを海外展開
- 戦略5 ごみ収集・処理コストを削減

SDGsのゴールとして 12 つくる責任 つかう責任 / 14 海の豊かさを守ろう / 8 働きがいも経済成長も / 11 住み続けられるまちづくりを の達成に寄与

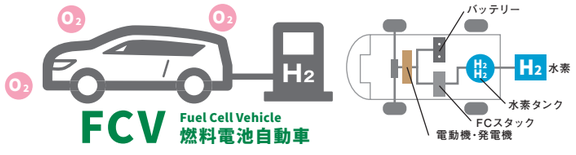
戦略2 経済、社会、環境の統合的な向上

環境の課題と人口減少・高齢化等の社会的課題や経済的課題は相互に関連し、複雑化。
環境面から対策を講じることにより、経済・社会の課題解決にも貢献すること、経済面・社会面から対策を講じることにより、環境の課題解決にも貢献することを追求。

具体の取組み例 エコカーの普及促進

ねらい

CO_2 排出量削減による地球温暖化防止、排ガスの減少による大気環境改善・市民の健康増進、経済成長・雇用創出等を同時に追求。



さらに

- 戦略1 市民や事業者によるエコカーの導入を促進
- 戦略3 FCVの普及拡大により水素社会の実現を可能とする持続可能な新技術の開発・普及を促進

SDGsのゴールとして 13 気候変動に具体的な対策を / 3 すべての人に健康と福祉を / 9 産業と技術革新の基盤をつくろう の達成に寄与

戦略3 持続可能な新しい技術、イノベーションの創出・活用

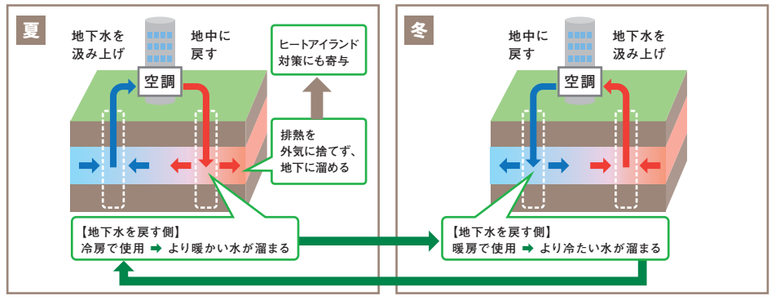
新しい技術やイノベーションは、環境問題の克服やコストの削減、経済発展を牽引する原動力。
持続可能な新しい技術やイノベーションの実用化フィールドとなって開発や普及を促進。

具体の取組み例 地中熱の導入促進

ねらい

大阪地域における地盤環境を活かした高セキュリティ、低コストの新たなエネルギーシステムを構築。

帯水層蓄熱利用の普及促進



さらに

- 戦略2 CO_2排出量の削減、ヒートアイランド現象の緩和、エネルギー分野の産業振興を同時に追求
- 戦略1 優れた技術をもつ事業者との連携によりイノベーションを創出

SDGsのゴールとして 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに / 13 気候変動に具体的な対策を / 9 産業と技術革新の基盤をつくろう の達成に寄与

戦略5 持続可能で効果的な行政運営

市民生活と直結する基礎的自治体として市民ニーズに的確に対応し、行政サービスの充実と、効率的・効果的な行政運営に努める。

具体の取組み例 家庭系ごみ収集輸送事業改革プラン

ねらい

ごみ収集輸送事業において、ＩＣＴの活用と体制の効率化によりコストを削減。

家庭系ごみ収集輸送事業　改革プラン【平成29～31年度】

＼ 2つの柱 ／

①経費の削減	②市民サービスの向上
平成28年度比で **約10%(150名)の削減** ▼ **▲6.2億円／年**	**◆交通事故発生件数の削減** 平成26～28年度から3割減、45件以内 **◆災害時の対応** 環境事業センターが発災後の迅速・適切なごみ収集のコントロールタワーとして機能

さらに

- 戦略2 地域を熟知する環境事業センターが災害時のコントロールタワー、地域の見守り拠点としても機能
- 戦略1 市民、地域の協力のもと、分別・資源循環を拡大

SDGsのゴールとして 12 つくる責任 つかう責任 / 11 住み続けられるまちづくりを / 8 働きがいも経済成長も の達成に寄与

戦略4 国際展開の強化（グローバルパートナーシップ）

パリ協定や SDGs の採択を受けて、企業ではサプライチェーン全体で環境負荷を低減していく動きが加速。
優れた環境技術の需要の拡大、環境ビジネスのグローバル展開が期待される。
大阪が蓄積してきた技術、ノウハウ、ネットワークを活かし、「オール大阪」で国際的な環境協力、環境ビジネスを展開。

具体の取組み例 Team OSAKA ネットワーク

ねらい

オール大阪で、環境技術・環境ビジネスを国際展開し、開発途上国の環境課題解決と大阪・関西経済の活性化を図る。

二国間クレジット制度（JCM）プロジェクトの実現例

デジタルタコグラフによる
エコドライブプロジェクト

空調制御システムを用いた
工場の省エネ化

ショッピングモールにおける
太陽光発電の導入

さらに

- 戦略1 産学官の連携による国際展開
- 戦略2 世界・開発途上国の環境課題解決と大阪・関西経済の活性化を同時に追求
- 戦略3 大阪が蓄積してきた技術・ノウハウを活用・普及

SDGsのゴールとして 13 気候変動に具体的な対策を / 17 パートナーシップで目標を達成しよう / 9 産業と技術革新の基盤をつくろう / 8 働きがいも経済成長も の達成に寄与

戦略1 戦略2 戦略3 戦略4 戦略5

5つの戦略で、未来の大阪を
SDGs達成に貢献する環境先進都市に！

十三干潟

淀川のウナギ漁
（提供：大阪市漁業協同組合）

舞洲工場
（提供：大阪広域環境施設組合）

夢洲メガソーラー

生き物調査

屋上緑化（なんばパークス）
（提供：南海電気鉄道株式会社）

国連環境計画
国際環境技術センター
（UNEP-IETC）

自然体験観察園における
お米作り

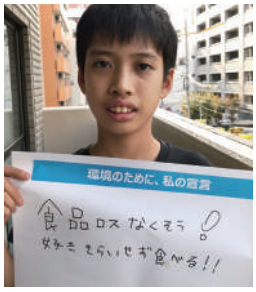
中之島

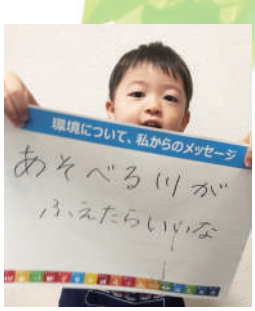
大阪城公園

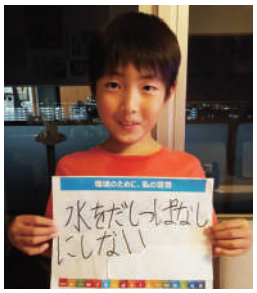
御堂筋のイチョウ並木

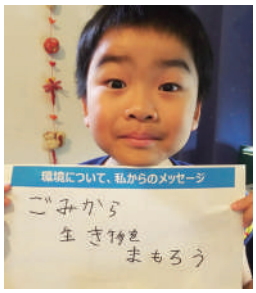
FCV（燃料電池自動車）
体験試乗会

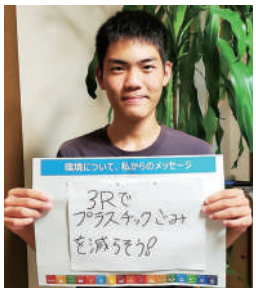
持続可能な世界の実現に向けて大阪から発信するメッセージ

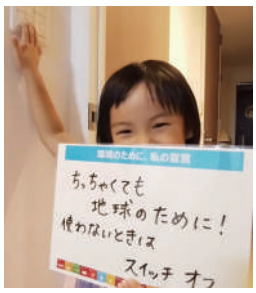


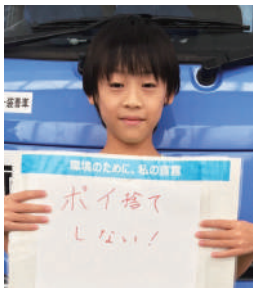












SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs※）は、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年を期限とする国際社会全体の17の開発目標です。
「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むものです。

※SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略称のこと

【本冊子に関するお問い合わせ先】

大阪市環境局 環境施策部 環境施策課　TEL 06-6630-3215　FAX 06-6630-3580